

『こどもっ家』

通常月2回の活動を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、3月より休止してまいりました。

しかし、休校により孤食になっている子、食事内容に偏りがでてしまう子、食事がとれない子に対し、低額で食事を提供し、安否確認も兼ねるため、「赤い羽根 緊急支援活動助成事業」の助成を受け、ランチの提供活動を行っています。

緊急事態宣言発令後は、清水区西高町にあるパン屋さん「えんぜる」の協力を得て週3日、おいしいパンの提供をしています。

利用しているこどもたちは毎回笑顔で来てくれます。

他の子たちも元気かな？勉強、遅れちゃうね。体力も落ちるね。いつになったら解除されるのかな？色々不安もあります。そんな中、「寄ってっ亭」に来ていたおばあちゃんが「小3の時、戦争でね、学校も行けずにくるくも勉強もできなかったけど、ちゃんと生きてこれたから大丈夫よ！」って話してくれました。そうだね、なんとかなるよね！勇気を頂きました。



4月19日の静岡新聞に活動の記事が掲載されました。

『デイサービス・月に一度のおたのしみ』 (3月2日開催)

毎日の食事は楽しみの一つですよね。しかし、高齢ともなると気をつけなければいけないことも多々あります。

「固い物はダメ!」「嚥下が悪い」「むせる」「食べたいのに食べられない」・・・我がデイサービスでも昼食は(体重や病気など)気を使って提供しておりますが、**なぜか!**ここに居る人たちはみんな元気!食欲旺盛!!そんな中、スタッフで考えに考えた結果「バイキング(食べ放題)はどうだろう?」と提案。食べたいものだけを好きなだけ食べられる、そんな日が月に一度あってもいいのでは?

メニューの候補は色々出てきたけれど、やはり「ちらし寿司!」ということになり、調理スタッフともシミュレーションして、量や具の準備をしていきました。当日、ドキドキでスタートしましたが、思っていたほどの混乱は無く、普段柔らかか食の人が二杯もおかわりしたり、卵焼きが意外と人気で残ってなかったり・・・

こんなご時世(新型コロナウイルス感染拡大)なのにどうか・・・と思うこともありますが、予防対策には十分気をつけて、わいわい楽しいひと時でありました。



『デイサービスにて』

年をとってくると、体を動かすのが億劫になってきます。若いときにはなんてことない動作が、とても大変に感じます。だけど、

体は動かさないと動かなくなるんです！

と言いつつも、80才を過ぎた人たちに無理なく効果のある運動って何だろう？と考えているときに出会ったのが“きくち体操”（菊池和子さん考案）です。基本的には座って足首を回すだけなのですが、やってみると意外とハード！ですが、半年ほど経って効果を実感できたのが私たちスタッフです。そして、日々の生活を見ていて思うのは、やはり、利用者さんたちの動きが今までと違う！“腰が痛い”

”足先が冷える“等の声を聞かなくなったのです。

今ではタオルを使い、歌も取り入れて楽しくできる体操も始めました。もう1年半くらいは続けています。

“老化は足から”ってホントですね！

みんな足を意識するようになって元気に歩いています。



『最近の寄ってっ亭』

新型コロナウイルス予防でマスクが店頭から消えて数週間・・・TVでも手作りマスクをとりあげるようになりました。

「無いなら作ろう！」精神の寄ってっ亭では、マスクの制作を始め早2ヶ月。ご近所のボランティアさんも巻き込んで、一体何百枚作った事でしょう？

材料の生地やゴム代わりにパンスト等は寄付していただいています。皆さんの善意で出来ているマスクが寄ってっ亭で100円で販売されています。



『ウワサのあの子』

介護ホームの新スタッフである“わこさん”が来るようになって、早1年。今では彼女の姿を見ないと落ち着かないという利用者さんやスタッフが続出・・・

他施設から来訪のケアマネさんも「わこちゃんは？」と、挨拶もそこそこに気にする始末です。

みんなのアイドル“わこちゃん”
あなたはもう出会ってる？



『設備点検・避難訓練』

年に一度、消防用設備点検を行いました。各部屋に設置してあるスプリンクラー等消火器、誘導灯、自動火災報知設備等の検査です。

設備も大事ですが、万が一を想定した避難訓練も行っています。避難場所(追分公園)へ迅速に移動できる様、前述の体操を行い、日頃から歩ける脚力を維持するよう頑張ってます！



住所 〒424-0841 静岡市清水区追分 3-5-17
電話番号: 054-367-2878
FAX: 054-367-2884

編集後記★

震災やウイルス対策・・・教訓として上がるのは備え。それ以上に大事なものは、思いやりではないかと思うのです。

発行責任者 藤下 品子
三浦 香織